



道修町まちづくり協議会 通称:The 道修町倶楽部
事務局 541-8505 大阪府中央区道修町3-2-10 田辺三菱製薬株式会社内
Tel:06-6205-5140 Fax:06-6205-5121
Eメール:the-dosyomachiclub-ml@ml.mt-pharma.co.jp
Webサイト:<https://doshomachi-club.org>

はじめに

第1号の内容

はじめに

1 道修町通再生プロジェクト

- ①地上機器設置予定場所
- ②道路整備修正案
- ③道修町景観ガイドライン
- ④今後のスケジュール

2 屋上ワイナリープロジェクト

道修町まちづくり協議会の
会員募集について

The 道修町倶楽部では、これまで十分にお伝えできていなかった、道修町のまちづくりの進捗状況について、「まちづくり瓦版」でお伝えしていきます。

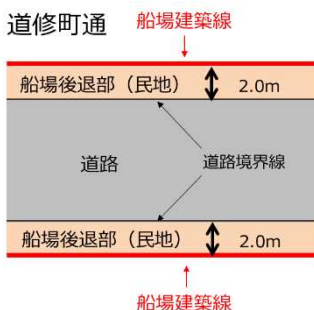
昨年春に「道修町まちづくり計画案(無電柱化/歩道新設/まちづくりルール作り)」をご提示し、道修町関係者のご意見・ご要望をお伺いしました。

その後、それら地元のご意見・ご要望をベースに、さらに調査・協議を重ねて、「道修町通再生プロジェクト案」を作成しました。未だ警察協議の行方や事業資金等が未確定で、今後見直しが求められる可能性はありますが、現時点までの進捗状況をお知らせします。

また、新企画として、ビルの屋上でブドウを栽培して大阪の赤ワインをつくる「屋上ワイナリープロジェクト」のモデル参加希望ビルを募集します。ご興味のあるビルオーナー様は、事務局までご連絡下さい。

船場後退部とは・・・

船場建築線(建築基準法上の道路境界線)と実際の道路境界線との間の約2m幅の民地です。



1 道修町通再生プロジェクト

2020年度末を目標(ベストシナリオ)に、道修町通の2丁目・3丁目沿道を対象に、無電柱化・無電線化/船場後退部を含めた道路整備/魅力あるまちなみの実現をめざします。

道修町通再生プロジェクト(ハード面の整備)

- 目指すべき道修町の将来像
 - ・ 歴史と伝統を輝く未来につなげるくすりのまち、道修町
- まちづくりコンセプト
 - ・ 健康を願う人びとが集う活気あるまちをつくる
 - ・ くすりの道修町の歴史と未来が調和したまちなみを維持・発展させる
 - ・ まちで暮らし、働く人びとが信頼し協力し合える活動をする

道修町通再生プロジェクト

無電柱化・無電線化	船場後退部を含めた道路整備	魅力あるまちなみ演出
-----------	---------------	------------

道修町景観づくりガイドライン(対象地域:道修町1~4丁目全域)

- ・ 対象地域: **道修町通2丁目・3丁目沿道(1,4丁目は次の課題に)**
- ・ 目標時期: 2020年度末: プロジェクト完成(ベストシナリオ)

→ 前提条件として、地元地権者様のご協力・ご賛同が必要です。

- ・ 無電柱化に伴う地上機器の船場後退部(民地)への設置のご協力
- ・ 沿道地権者様の「歩道設置についてのご賛同」

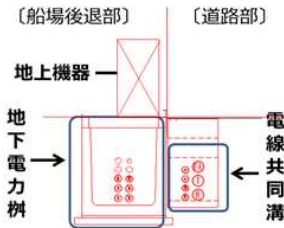


①地上機器設置予定場所

無電柱化・無電線化では、電線類を地下の共同溝に集約し、電柱の変圧器・開閉器を地上の「地上機器」と「電力樹」に収納します。

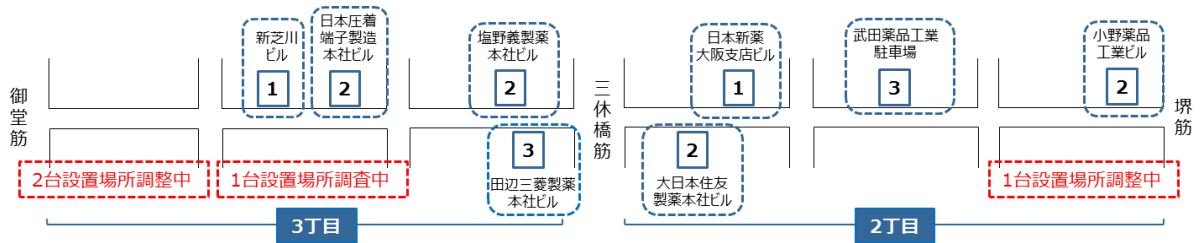
今回のプロジェクトでは、地上機器（および電力樹）を、船場後退部（民地）に設置することによって、道路北側に設置予定の歩道の歩行空間をできるだけ広く確保していきたいと考えています。

沿道地権者様にご協力をお願いした結果、その大方の設置予定場所が決まりました。今後、順次試掘工事を行い、地上機器設置場所を確定していきます。



■ 地上機器設置予定場所

□内の数字は設置台数



■ 工事スケジュール

2018年2～4月

地上機器設置候補地試掘工事

2018年5月～2019年度

地下共同溝・地上機器設置工事

2019～2020年度

道路整備工事
電線・通信線切替工事

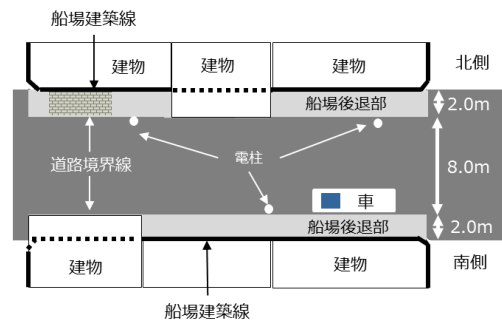
2020年度末～

電柱撤去

★なぜ、船場後退部に地上機器を設置する必要があるのか？

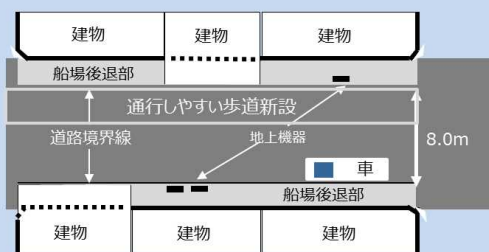
■ 道修町通の現状

- ・ 道路幅員が8mと狭い。
- ・ 歩車道が分離されていない。（課題）
- ・ 荷捌き車の停車が少なくない。（必要）
- ・ 船場建築線の設定により、船場後退部はあるが、非連続かつ高さにバラツキあり。
- ・ 小規模ビルが多く、車の出入り口が多い。
- ・ 毎年11/22・23「神農祭」は屋台が並び、多くの参拝客で賑わう。（守りたい）



■ 道路整備の方向性：人に優しいみち ⇒ 船場後退部という「みちの余白」活用

- ・ 障害物や段差をできるだけ無くして、高齢者や障がい者が歩きやすく、車いすでも通行しやすい歩道を新設したい。
- ・ 神農祭や将来の賑わいイベント開催時には、道路と歩道（8mの公道）を一体として利用できるように、障害物は極力公道の外側に置きたい。
- ・ 将来的には、歩道と車道のフルフラット化をめざしたい。



②道路整備修正案

道修町通の課題・特徴を踏まえつつ、昨年春の地元説明で提示されたご意見・ご要望をベースに、停車車両調査や他場所事例の研究、デザイン検討を加えて、道路整備案を修正しました。



■ 完成イメージパース



（注）本修正案およびイメージは、2018年3月時点での協議会案であり、今後の大阪市・警察との協議や、デザイン検討、コスト等によって変更になる可能性があります。

③道修町景観ガイドライン

道路整備と並行して、道修町 **1丁目～4丁目全域**を対象に、景観整備の基準として緩やかな「道修町景観づくりガイドライン」を策定していきます。

現時点での構成案は以下の通りです。大阪市が昨年10月に導入した「地域景観づくり協定」の制度を活用し、「地域景観づくり推進団体」の認定後、このガイドラインをブラッシュアップし、「地域景観づくり協定」の締結・認定をめざします。

- 対象地域：道修町1～4丁目全域
- 基本的な考え方：緩やかな景観づくりのためのガイドライン
 - ・ 「大阪市景観計画」および「大阪市都市景観条例」にける景観形成の方針・基準に上乘せして適用する、緩やかな「景観づくりのルール」とする
- ガイドライン構成案：
 - ・ 景観づくりの基本的な考え方と目標
 - ・ 基本ルール；行為の相談・協議／その他
 - ・ 景観形成基準；街路のデザイン（道路・ストリートファニチャー）／敷地と建物のデザイン（船場後退部・外溝部・建物）／色彩及び夜間照明

→「地域景観づくり推進団体」の認定申請のためには、道修町の「地権者・ビル所有者・テナントの皆様」のご賛同が必要になりますので、ご協力の程よろしくお願ひします。

④今後のスケジュール

今後、警察協議や事業資金等に用途を付け、大阪市との協業を進めるための基本確認書の締結、地域景観づくり推進団体の申請を予定しています。

本年5月頃には、地元の皆様へのご説明ができるように検討を進めてまいりますので、今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

2 屋上ワイナリープロジェクト

屋上ワイナリープロジェクトへの参加希望ビルを募集します。ビルの屋上でブドウを育てて、大阪ワインを作りませんか？

大阪府のご紹介による大阪スカイハイ・ヴィンヤード様のご協力を得て、ビルの屋上のプランターでブドウの木を育て、大阪ワイン[赤ワイン]を作ろう、という当協議会の企画です。ご興味のあるビル保有者様は、事務局までご連絡下さい。



道修町まちづくり協議会の会員を募集しています！

- (1) 正会員：土地または建物を所有される方／対象区域内で事業を行っている方（会費）年額1口5,000円、1口以上
- (2) 個人会員：対象区域内で専ら居住を目的として居住されている方（会費）負担義務無し
- (3) 賛助会員：上記のいずれにも該当しない方で、本会の目的に賛同し、本会の活動の円滑な実施に協力しようとする個人、団体または企業（会費）年額1口10,000円、1口以上

道修町を未来に向けてさらに歴史と魅力あふれるまちへとつなげるため、わたしたちと共にまちづくり活動に参加・協力・支援いただける方は、事務局までご連絡下さい。